



校訓 「創造 そして躍進」

学校教育目標 「未来を拓く感性をもち、共に高め、ひびき合う生徒」

重点目標 「自律する心」自分らしさを見つめ、自ら学び、判断し、行動する生徒

「感動する心」様々な体験を通して、深く心を動かす生徒

「思いやる心」互いの良さを認め合い、相手の身になって行動できる生徒

学校経営目標（令和4年度） 「安全・安心、気持ちのよい環境の中で、自主性が育つ学校」

〈豊かな人間性〉

- 人権教育の充実
- 道徳教育の充実
- 体験活動の充実

〈健康・体力〉

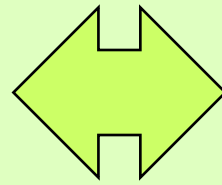
- 生活習慣の向上
- 食育の推進
- スポーツの奨励

〈資質・能力の育成〉

【何ができるようになるか】

「学校教育の基本」

- 学んだことを生かして、自ら課題解決に取り組む
- 他との関わり合いの中で、自分の資質を高める



【何が身についたか】

「学習評価を通じた学習指導の改善」

- 自ら考え、自ら行動する力
- コミュニケーション能力、計画性、実行力

〈生徒の実態〉

- 基本的な生活習慣が身に付いている
- 学びへ向かう素直な姿勢がある
- 男女の仲が良い
- 道徳心のある温かな生徒が多い

〈配慮を要する生徒への支援〉

- 学習、生活環境の整備
- 個別の支援計画に沿ったチームでの対応

〈目指す生徒の姿〉

- より良い学校生活の向上を求める生徒
- 多様性を理解し、認め合い、思いやりのある言動のとれる生徒
- 気持ちのよいあいさつができる生徒

【何を学ぶか】

「教育課程の編制」

- 学習への見通しと計画性、向上のための自己評価
- 関わり合いによる課題解決の有用性の実感
- 課題解決のため基礎基本となる知識・技能の習得
- 気持ちのよい環境、人間関係づくり
- 自らの活動への達成感、自己肯定感の実感

【どのように学ぶか】

「教育課程の実施」

- 生徒の実態を踏まえた授業構想「学びのプラン」
- 学びを深める対話場面の設定、タブレットの活用
- 基礎基本を確実に身につけるための課題の提示
- あいさつ、思いやりのある言動につながる諸活動
- 個にあった目標づくりと多くの目と手による支援

「指導体制の充実、家庭・地域との連携」

- 資質向上につながる校内研修の充実（学びのプラン、ICT教育の推進、基礎基本の定着）
- 4つのアシストによる支援の充実
- 地域・家庭との連携強化（学校運営協議会の活動の充実、外部人材、地域人材の活用）
- あいさつ運動の推進（小さな親切運動、山田小学校・沢地小学校との連携）

〈安心・安全を守る〉

- 「命を考える日」を中心とした防災教育の充実
- 問題行動への迅速な組織的な対応
- 日常的な教育相談の充実

〈開かれた学校作り〉

- OCS（学校運営協議会）の開設、円滑な運営
- 学校地域支援本部等学校サポートとの連携強化
- 学校ホームページの活用の充実